

|          |  |     |      |     |     |    |           |
|----------|--|-----|------|-----|-----|----|-----------|
| 教科名      | 国語科  | 科目名 | 古典B  | 単位数 | 4単位 | 対象 | 3年(特進コース) |
| 科目の分類    | 必履修科目  |     | 履修順序 |     |     |    |           |
| 科目の目標    | 1. 古典を読む能力を養うとともに、思考力を伸ばし、感性や情緒を育み、古典を通して人生を豊かにする態度を育成する。<br>2. 幅広く古典を取り上げ、かつ言語文化の変遷について理解を深める。<br>3. 我が国の文化の特質、我が国の文化と中国の文化との関係について考える。   |     |      |     |     |    |           |
| 教科書      | 『新編 古典B』 (東京書籍)  |     |      |     |     |    |           |
| 副教材      | 『最新国語便覧』(浜島書店) 『基礎から学ぶ 解析古典文法』(桐原書店) 『改訂版 重要古文単語315』(桐原書店)   |     |      |     |     |    |           |
| 学習内容(概要) | 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。  |     |      |     |     |    |           |
| 学習のポイント  | 1. 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。<br>2. 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉える。<br>3. 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確に捉え、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。<br>4. 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。<br>5. 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。 |     |      |     |     |    |           |
| 到達目標     | 1. 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる。<br>2. 古典を読んで、内容把握や登場人物の心情理解することができる。<br>3. 我が国の文化特質や中国の文化について関心を持つことができる。  |     |      |     |     |    |           |
| 評価の方法    | ・定期テストの得点。<br>・授業時の発表、ノート・プリント等の提出状況。<br>・長期休暇中の課題の提出状況。 <span style="float: right;">} を総合的に判断して評価する。</span>   |     |      |     |     |    |           |

学習展開〈年間指導計画の概要〉

|       | 単元または項目   | 学習のねらい   | 主な学習活動(教材等)  |
|-------|-----------|--|--|
| 一学期前半 | 授業ガイダンス   | 進度の説明・評価の仕方について等                                   | ・進度の説明・評価の仕方について板書やプリント等で説明                                |
|       | 1. 説話に親しむ | ・古文の読み方を確認する。<br>・説話を読み、その展開や内容の面白さを味わう。           | 「小野篁、広才のこと」(宇治拾遺物語)<br>「大江山の歌」(十訓抄)<br>「袴垂保昌にあふこと」(宇治拾遺物語) |
|       | 2. 故事と小話  | ・漢文の読み方を確認する。<br>・話の展開や内容の面白さを味わう。                 | 小話一五編<br>「知音」(呂氏春秋)<br>「太公望」(十八史略)                         |
| 中間テスト |           |  |  |
| 一学期後半 | 3. 物語を読む  | ・物語を読み、古文に親しみを持つ。<br>・登場人物や、できごと、心情を読み取り、内容把握に努める。 | 「火鼠の皮衣」(竹取物語)<br>「天の羽衣」(竹取物語)<br>古文の窓① 月と暦、そして古典           |

|       |          |   |   |
|-------|----------|---|---|
|       | 4. 唐詩と文  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の内容を叙述に即して読み取る力をつける。</li> <li>・漢詩や文章を読み、簡潔で含蓄のある表現を味わう。</li> <li>・豊かな詩情や明確な主張を読み取る。</li> </ul>      | 唐詩<br>「秋風引」(劉禹錫) 「静夜思」(李白)<br>「碩中作」(岑参) 「登丘陽楼」(杜甫)<br>「香炉峰下、新ト山居草堂初成、偶題東壁」(白居易)<br>文<br>「桃花源記」(陶淵明集)  |
| 期末テスト |          |   |   |
| 二学期前半 | 5. 随筆を読む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・随筆を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。</li> <li>・作者の考え方について話し合い、理解を深める。</li> <li>・作者についての知識を深め、作品理解に努める。</li> </ul> | 「神無月のころ」(徒然草)<br>「丹波に出雲といふ所あり」(徒然草)<br>「九月二十日のころ」(徒然草)<br>「久しく隔たりてあひたる人の」(徒然草)<br>・古文の窓②「兼好法師、こんな一面も」 |
|       | 6. 和歌の世界 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々に親しまれてきた和歌を詠み味わい、鑑賞する。</li> <li>・和歌に表れた作者のものの感じ方や、表現上の工夫を理解する。</li> </ul>                           | 「小倉百人一首の世界」(小倉百人一首)<br>和歌を読み比べる<br>討論会形式の「歌合」   |
| 中間テスト |          |   |   |
| 二学期後半 | 7. 史記を読む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・史記を読み、歴史上の人物の行動や心情について考える。</li> <li>・登場人物の生き方を通して、歴史のおもしろさを味わう。</li> </ul>                            | 項羽と劉邦<br>「瀕門之会」<br>「四面楚歌」<br>漢文の窓「捲土重来」   |
|       | 8. 寓話を読む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寓話を読み、ものの見方や考え方を深める。</li> <li>・人間や政治についての、古代中国のさまざまな考え方を読み取る。</li> </ul>                              | 寓話<br>「出藍誉」(荀子)<br>「侵官之害」(韓非子)<br>「塞翁馬」(淮南子)<br>「長沮・桀溺」(論語)   |
|       | 9. 日記を読む | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日記を読み、作者のものの見方や感じ方を理解する。</li> <li>・作者の境遇を確かめながら、その心情を理解する。</li> </ul>                                 | 「馬のはなむけ」(土佐日記)<br>「帰京」(土佐日記)<br>「物語」(更級日記)  |
| 期末テスト |          |   |   |

|             |              |   |  |
|-------------|--------------|---|--|
| 三<br>学<br>期 | 10. 軍記物語を味わう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・軍記物語を読み、登場人物の生き方について読み取る。</li> <li>・表現の特色に注意して、軍記物語を読み味わう。</li> </ul>   | 「壇ノ浦の合戦」(平家物語)   |
|             | 11. 三国志の世界   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・史話を読み、歴史の面白さを味わう。</li> <li>・登場人物の性格や心情を読み取り、人間のあり方について考える。</li> </ul>   | 「水魚之交」(十八史略)<br>「竭股肱之力」<br>「七縦七禽」<br>「死諸葛走生仲達」             |
|             | 学年末テスト       |   |  |
|             | 12. 近世の紀行    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀行を読み、作者が旅に込めた思いについて考える。</li> <li>・それぞれの文章に詠まれた句を読み味わい、鑑賞する。</li> </ul> | 「漂泊の思ひ」(奥の細道)<br>「旅立ち」(奥の細道)<br>「立石寺」(奥の細道)<br>「最上川」(奥の細道) |